

令和6年度 信学会白馬幼稚園 「園の自己評価」(モニター会)

よりよい園運営を行うため、園の自己評価の実施が法律で規定されました。これは国からの評価項目の指標に基づいています。

1 園の教育目標

“みんなのびのび えがおほかほか はくばっこ”

～ 白馬の恵まれた自然の中で 心豊かな子どもを育もう ～

2 目指す子ども像(本年度の重点目標)

- ・豊かな体験活動を通して、科学的なものの見方や考え方ができる子ども
- ・失敗をおそれず、なにごとにも楽しく前向きに挑戦する子ども
- ・歌って自分を励まし、歌って友達の輪を広げていく子ども

3 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故や怪我等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4 園運営の反省

- ・園の教育目標具現に向けて、教職員、子ども、保護者と共に園生活、教育の充実を目指してきた。また、子どもたちの主体的な活動を大切にしたいと考えて、行事や日頃の指導を計画的に行うことを目指してきたが、取組の初段階にあるところもある。
- ・行事等のあり方や実施方法を検討してきているが、社会的なニーズや傾向、時代の流れを把握しつつ不易と流行の面や本園らしさ、働き方の課題などを総合的に考えて、今後も継続して検討していかなければならない。
- ・子どもたちの楽しく充実した園生活が実現することを前提に、教職員の園務分担や業務内容や責任のあり方、個の課題、研鑽方法について都度振り返り、園運営や指導内容の充実に取り組んでいかなければならない。

5 第三者委員会からの意見

- ・園の自己評価については、課題があるからこそそのBであることを自覚して、これからの改善に努めていくことを職員に周知し、具体的な方略を検討していきたい。
- ・保護者アンケート集計結果は、「A～D 評価」のある項目について、昨年度と比してAが大幅に増加し、批判的な意見は皆無だった。園運営への意見をいただいた場合、年度途中でも改善できることは即時実行した点を高く評価いただいた。また、職員の対応やグランドデザイン等についても現状に満足いただけた。